【井原市】

校務 DX 計画

井原市では、学校現場における教職員の負担を軽減し、児童・生徒と直接関わる時間や授業の質を向上させるための時間を確保するため、以下のとおり校務 DX を推進する。

1. 校務 DX 推進体制の構築

・校務 DX 計画推進にあたり、井原市第6次情報化計画と整合を図るため、DX 担当部署と協力体制を構築する。

・学校現場において教職員の ICT 活用能力向上と積極的な活用を促進するため、継続して ICT 支援員を配置する。

2. 教育ネットワークの再構築

・ネットワークの効率化と柔軟な運用を実現するため、校務系システムを閉域網で運用するのではなく、ゼロトラストの考え方に基づきアクセス制御によるセキュリティ対策を講じた上で、学習系ネットワークと統合する。

3. 校務のデジタル化及びクラウドツールの活用

・書類の電子化を推進するため、FAX でのやり取りや押印について、原則廃止とする。

・会議の資料をクラウドで共有しペーパレス化を図る。各種アンケートをクラウドツールを用いることで効率化を図る。

・校務支援システムへの名簿情報の入力については、令和5年度に更新した既存システムは電子データでの取り込みが可能となっており、小中学校のデータ連携も可能になっている。今後も他のシステムやソフトウェアの連携を進め、不必要な作業の削減を図る。

・次世代の校務支援システムについては、令和10年度の更新に向け、パブリッククラウド上での運用を前提に、必要な要件の検討を令和8年度から実施する。

・令和5年度に市内全中学校にデジタル採点システムを導入し、採点・集計作業の省力化を図っている。今後も校務支援システムとの連携を進め、不必要な作業の削減を図る。

・令和5年度に保護者連絡ツール（アプリケーション）を小中学校及び幼稚園に導入

し、印刷物の削減に取り組んでいる。今後は運用実績を検証し、保護者の利便性を損なわない範囲で印刷物削減に取り組む。

4. セキュリティ対策の強化

・セキュリティポリシーを教職員間で共有するとともに、定期的に見直し、改善を進めていく。

・児童生徒、教職員、保護者が安全・安心にデジタルツールを活用できるように、情報モラル教育を継続的に実施し、情報セキュリティ意識を高める。